

指定管理者制度導入施設の運営状況（平成28年度）

1. 施設名等

施設名	大分県立総合文化センター(iichiko総合文化センター)	所在地	大分市高砂町2-33
		電話番号	097-533-4000
		ホームページ	http://www.emo.or.jp/
	大分県立美術館	所在地	大分市寿町2-1
		電話番号	097-533-4500
		ホームページ	http://www.opam.jp/

2. 指定管理者および県の所管部課（窓口）

指定管理者	名称 所在地 指定期間	公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団 大分市高砂町2-33 平成25年10月1日～平成30年3月31日	県の所管部課 (局・室)	企画振興部芸術文化スポーツ振興課 TEL:097-506-2057
-------	-------------------	--	-----------------	--------------------------------------

3. 施設の概要

設置年月日	平成10年8月1日	iichiko総合文化センター
設置根拠	大分県立総合文化センターの設置及び管理に関する条例	
設置目的	文化の創造と享受の場を提供することにより、県民の多様な文化活動を促進し、もって個性ある地域づくりと潤いのある生活の創造に寄与する。	
事業内容	センターの施設及び設備の利用に関すること。 音楽・演劇等芸術文化の鑑賞の機会を提供すること。 文化に関する情報を収集し、及び提供すること。 その他、センターの目的を達成するために必要な事業	
施設内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・iichikoグランシアタ（大ホール1,966席）</li> <li>・iichiko音の泉ホール（中ホール 710席）</li> <li>・iichikoアトリウムプラザ</li> <li>・リハーサル室・練習室（9室）、映像小ホール、県民ギャラリー、会議室（6室）</li> <li>・駐車場（295台）</li> </ul>	
使用料等	<p>終日利用の料金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・iichikoグランシアタ：228,100円～501,800円</li> <li>・iichiko音の泉ホール：99,700円～223,300円</li> <li>・iichikoアトリウムプラザ：5,150円～41,100円</li> <li>・リハーサル室・練習室：3,490円～17,250円、映像小ホール：35,950円、県民ギャラリー：9,250円～10,800円</li> <li>・会議室：13,600円～28,900円</li> <li>・駐車場：最初の30分以内 無料、30分を超え1時間以内 200円、1時間を超え30分ごと 100円、営業時間外（23時～翌朝8時） 出入庫不可 900円</li> </ul>	
閉館日	第2・第4月曜日及び年末年始（12月29日～1月3日）	

設置年月日	平成27年4月1日	大分県立美術館
設置根拠	大分県立美術館設置及び管理に関する条例	
設置目的	芸術文化創造の拠点として、優れた美術作品の鑑賞及び学習機会を提供するとともに、創作活動及び作品発表等の支援を通じて、県民の感性や創造性を高め、文化を核とした地域力を高めるため。	
事業内容	<p>美術品及び美術に関する資料の収集、保管、展示及び利用に関すること。 美術品等に関する調査及び研究に関すること。 美術に関する情報の収集及び提供に関すること。 美術に関する講演会、講座等を開催すること。 美術館の施設及び設備の利用に関すること。 学校及び他の美術館、博物館その他の文化施設等との連携に関すること。 その他、美術館の目的を達成するために必要な事業。</p>	

施設内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1階 展示室A アトリウム ミュージアムショップ モバイルカフェ</li> <li>・ 2階 アトリエ 研修室 体験学習室 カフェ</li> <li>・ 3階 展示室B コレクション展示室</li> <li>・ 屋外駐車場（143台、24時間利用可） 地下駐車場（107台、8時～23時）</li> </ul>
使用料等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観覧料（コレクション展）：200円～300円</li> <li>・ 展示室A：9,250円～37,000円（終日）</li> <li>・ 展示室B：9,250円～37,000円（終日）</li> <li>・ アトリウム：4,800円～19,000円（終日）</li> <li>・ 研修室：1,200円（1時間）</li> <li>・ アトリエ：1,200円（1時間）</li> <li>・ 駐車場：最初の30分以内 無料、30分を超え1時間以内 200円、1時間を超え30分ごと 100円、営業時間外（23時～翌朝8時） 出入庫不可 900円</li> </ul>
閉館日	原則として無休（館内点検等のための臨時休館を除く）

#### 4. 目標指標の達成状況

iichiko総合文化センター

指標	年度	目標数値	実績	達成率(%)
ホール年間利用率(%) グランシアタと音の泉ホールの 利用率の合計を2で除した数	平成25年度(上期)	83.5	82.4	98.7%
	平成25年度(下期)	87.0	89.6	103.0%
	平成26年度	87.0	84.3	96.9%
	平成27年度	87.0	85.6	98.4%
	<b>平成28年度</b>	87.0	86.1	99.0%

大分県立美術館

指標	年度	目標数値	実績	達成率(%)
来館者数(人)	平成27年度	500,000	642,505	128.5%
	<b>平成28年度</b>	500,000	434,518	86.9%

5. 施設の利用状況  
iichiko総合文化センター

利用者数(人)	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	累計	
	平成25年度	18,896	20,965	13,620	21,122	22,487	20,381		
	平成26年度	9,076	23,441	17,952	22,879	28,808	26,319		
	平成27年度	22,066	15,599	14,768	19,101	21,228	15,778		
	平成28年度	8,375	15,638	20,574	19,103	23,912	17,755		
	年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
	平成25年度	22,639	18,470	19,621	14,597	14,043	23,226		230,067
	平成26年度	22,358	26,666	15,856	15,123	15,037	27,908		251,423
	平成27年度	22,520	33,206	21,114	13,101	19,518	21,713		239,712
	平成28年度	29,040	25,642	23,389	16,332	13,061	21,041		233,862

大分県立美術館

利用者数(人)	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	累計	
	平成27年度	19,275	77,701	94,066	70,289	138,932	44,223		
	平成28年度	17,010	28,863	30,019	33,660	52,939	36,119		
	年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
	平成27年度	42,230	33,397	29,969	32,437	33,634	26,352		642,505
	平成28年度	48,196	37,045	34,356	45,760	38,857	31,694		434,518

6. 利用者満足度調査等の実施状況

利用者満足度調査	実施方法	<p>iichiko総合文化センター 施設利用者アンケート(H29年3月実施):666団体(個人を含む)うち265団体回答(回収率39.8%) 自主公演開催時に公演ごとにアンケートを実施 メール(専用アドレス)、電話、FAX、意見箱(館内6か所)による意見の受付</p> <p>大分県立美術館 施設利用者アンケート(H29年3月実施):60団体うち49団体回答(回収率81.6%) 施設来館者アンケート(随時):館内2か所にアンケート用紙を設置し、随時回収</p>
	実施結果	<p>iichiko総合文化センター ・施設利用満足度については、「大変満足」「ほぼ満足」を合わせると83.4%となり、利用者の満足度は高い。 ・施設を利用する理由として上位にあげられているのが、「立地がよい」「施設・設備が充実」「料金が適正」「知名度が高い」などである。 ・次回以降の再利用意向は「ぜひ使いたい」「使いたい」を合わせると84.5%であり、高い再利用意向を得ている。</p> <p>大分県立美術館 ・施設利用満足度については、「大変満足」「ほぼ満足」を合わせると83.7%であり、一定程度の満足度を得ている。 ・施設を利用する理由として上位にあげられているのが、「立地がよい」「知名度が高い」「施設・設備が充実」「料金が適正」などである ・次回以降の再利用意向は「ぜひ使いたい」「使いたい」を合わせると89.8%であり、非常に高い再利用意向を得ている。</p>
利用者等からの主な意見・要望・苦情		左の対応状況
大規模公演時に満車になると行き場所がない。(センター)		OPAM駐車場案内表示、センター・美術館共通駐車場チラシ作成、混雑時誘導等を行った。
会議室のプロジェクトが持込み機器と合わない、スマホ・PCでの接続環境を整えて欲しい。(センター)		プロジェクトを新しいものに更新し、また、複数のPC接続を可能とするスイッチングハブや無線LAN機器を購入し、貸出しできるようにした。
分煙環境を整えて欲しい。(センター)		音の泉ホール楽屋通路の分煙機を撤去し、1F楽屋入口に集約した。また、地下駐車場エレベーターホールの灰皿を撤去した。

出入口やトイレへの案内がわかりにくい。(美術館)	案内板の増設や表示文字の拡大などの改善を行った。
ポストカードやグッズの種類が少ない。(美術館)	ポストカードを新たに15種類作成。グッズについてもショップと協議し、新商品を販売した。
展示ケースに証明が反射し、見づらい。(美術館)	展示ごとに微調整を行い、可能な限り反射を押えるように努めた。

## 7. サービス向上に係る主な取組内容

サービス提供体制の強化	<p>iichiko総合文化センターと美術館の管理業務に関して、それぞれの施設の特異性を考慮すべき業務を除き、清掃、駐車場等警備、植栽管理等の業務を一括で発注し、スケールメリットを活かした最適な方法で委託した。</p> <p>iichiko総合文化センター1階のインフォメーションでは、施設の予約、チケット販売、友の会の入会などiichiko総合文化センターのサービス窓口としてワンストップで対応することはもとより、美術館の企画展の前売券を販売するなど、両施設で連携したサービス提供に努めた。</p> <p>iichiko総合文化センターでは大分県立美術館の、大分県立美術館ではiichiko総合センターの専用チラシスタンド設置、美術館連絡通路に展示ポスターを設置など、両施設の連携による情報提供体制の強化に努めた。</p> <p>iichiko総合文化センターと大分県立美術館共通を中心に県内の芸術文化に広く親しんでもらうための「大分県芸術文化友の会:びび」について会員拡大に取り組むとともに、様々な芸術文化関連情報の発信やチケット割引等各種サービスの提供を行った。</p> <p>iichiko総合文化センターで定期的に美術館への誘導を館内放送し、互いの施設の利用促進を図った。</p> <p>両施設の駐車場について、片方が混雑した際の誘導を徹底し、効率的運営に努めた。</p> <p>施設と駐車場の一体的利用の促進を図るため、練習室利用者を対象に駐車場利用料金割引券を提供するサービスを継続した。</p> <p>会議室のプロジェクトを更新したほか、楽屋のブラインド取替えを行うなど、経年劣化により痛んでいる設備を利用者が気持ちよく利用できるように環境整備を実施した。</p> <p>ミュージアムショップでは事業者と企画・開発を行ってきたオリジナル商品の販売を、カフェでは開催中の企画展と連携したメニューの提供を行なった。</p> <p>OPAM1周年記念行事のひとつとして、期間限定で企画展・コレクション展の入場者に駐車券を配布した。また、お正月の1月1日から3日にかけて、着物での美術館来館者へ企画展無料対応を行なった。</p> <p>より美術館を楽しんでいただけるよう、美術館来館者に対して建物や展示物を紹介する、「OPAMサポーター館内ガイドツアー」を原則月曜日と木曜日に実施した。</p>
	<p>【芸術文化ゾーン】</p> <p>8月に開催した「Tanavata Starlight Express 2016」では、iichiko総合文化センターアトリウムプラザや市内中心部商店街を会場として、アート・パフォーマンスなどが融合した事業を実施した。</p> <p>12月に開催した「HEart of Christmas! 2016」では、県立美術館とiichiko総合文化センターを核とした「芸術文化の拠点」から、ネットワークづくりと賑わいづくりのため、商店街等と一体となって、アート・パフォーマンスなどが融合した事業を実施した。</p> <p>【総合文化センター】</p> <p>28年度は、オペラ公演に重点を置き、次代を担う青少年の情操を育むために、オーケストラ付きで国内最高水準のオペラを無料鑑賞できる鑑賞教室『セビリアの理髪師』を実施したほか、愛知県芸術劇場・神奈川県立劇場等を連携協力者として迎え、勅使河原三郎の斬新な演出でオペラ『魔笛』を共同制作した。この他、共催事業として、『ラ・ボエーム』、『こうもり』も上演し、計4本のオペラ公演を展開した。</p> <p>「iichikoグランシアタ・ジュニアオーケストラ」に関しては、年度末に開催した第8回定期演奏会で大曲に挑戦し、973名の来場者に演奏を披露したほか、アウトリーチ活動を年4回実施し、活動の幅を広げた。</p> <p>毎年根強い人気のある歌舞伎公演の松竹大歌舞伎「獨道中五十三次」を昼夜2回行い、猿之助、巳之助ほか、実力のある出演者が、宙乗り、早変わりで見せ場の多い演目で、昼夜ともほぼ満席の状態であった。期待以上の充実した内容に、多くの観客から評判が高く、初めて歌舞伎を見た小学生からも「おもしろかった」との意見をいただいた。また、随所に大分に関連する台詞が取り入れられ、喝采をあげていた。</p> <p>「ワンコインリレーコンサート」に関しては、500円という低価格で様々なジャンルの一流の音楽を楽しむことができる演奏会を年間を通じて5回開催した。</p> <p>ミュージカル体験ワークショップに関しては、7月27日から5日間ワークショップを行うとともに、中央通りとアトリウムで発表会を開催し、大きな賑わいとなった。また、「OITA BROADWAY MUSICAL THEATER」を28年度に初めて企画し、公募による小学1年生から70歳までの一般参加者約80名が約7ヶ月間稽古を積み重ねた。</p>

イベント等の充実	<p>歌舞伎やオペラなど鑑賞が難しいと思われがちなジャンルについて、実演を交えてわかり易く解説するレクチャーを実施し、舞台芸術の愛好者を増やすことができた。</p> <p>「ARTS(音楽と美術)が生み出すキッズパーク」を合い言葉に、「アトリウム遊園地」を実施し、約2,000人の親子連れが集まり、大盛況であった。メインステージでは、クラシックコンサートやミュージカル体験、フラフープ演技などが展開され、体験時には長い列ができた。手作りおもちゃコーナーや県産材を活用した積み木(木育)コーナー、美術館企画の動物ごっこなりきり隊なども、多くの人々が詰めかけた。</p> <p>【県立美術館】 4月8日から5月8日までの会期で、「OPAM×能勢伊勢雄 シアター・イン・ミュージアム」を開催。能勢伊勢雄氏を監修者に迎え、能勢氏の作品展示の他、映像表現や前衛芸術など、異なるジャンルの表現が共存する空間を構成した。 年間6本の企画展を開催する中で、ワークショップやライブイベント等の関連イベントの開催や来館者プレゼントなど、常に楽しめる企画を実施した。</p> <p>大分県立美術館で所蔵する約5千点の作品の中から選りすぐりの作品を、年間6期に分けたコレクション展を通じて紹介した。</p> <p>平成28年度に6回実施したアトリウムのガラス水平折戸開放に併せてオープンカフェを開催し、美術館として新たな取り組みを行なった。また、新規メニューの開発・提供に加え、美術館と連携して大分ゆかりの作家や作品をイメージさせるメニューを提供した。</p> <p>【文化情報の発信・提供】 財団機関誌により、iichiko総合文化センターや県立美術館のイベント情報のほか、おおいた国際交流プラザニュース等幅広い情報を発信した。</p> <p>月間イベントカレンダー、ホームページ、メールマガジン、JR大分駅デジタルサイネージ、フェイスブック、ツイッター等により、芸術文化に関する情報を発信した。また、商店街と連携し、ポスターの掲示やチラシの配布等、広報活動に努めた。</p> <p>県公立文化施設協議会の会長館として、各施設の主催事業を取りまとめた「ホールナビ」を作成し、ホームページや新聞広告等を通じて県内外に情報発信を行った。</p> <p>総合文化センター、美術館に関する情報提供をマスコミに対して継続的に行なった。</p>
----------	---

## 8. 管理に係る収支の状況

(単位：千円)

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
収入額(A)		413,555	611,033	794,580	767,769
内訳	県からの委託料	160,879	344,813	452,367	454,465
	利用料金	251,641	260,750	337,242	307,973
	雑収入	1,035	5,470	4,971	5,331
支出額(B)		413,555	611,033	794,580	767,769
内訳	人件費	102,144	182,954	212,869	206,973
	維持管理費	4,206	3,824	3,824	2,914
	事業費	283,655	399,175	552,807	532,802
	iichikoパートナーシップ履行事業費	22,500	24,000	24,000	24,000
	サービス改善提案事業費	1,050	1,080	1,080	1,080
	その他	0	0	0	0
収支差額(A - B)		0	0	0	0

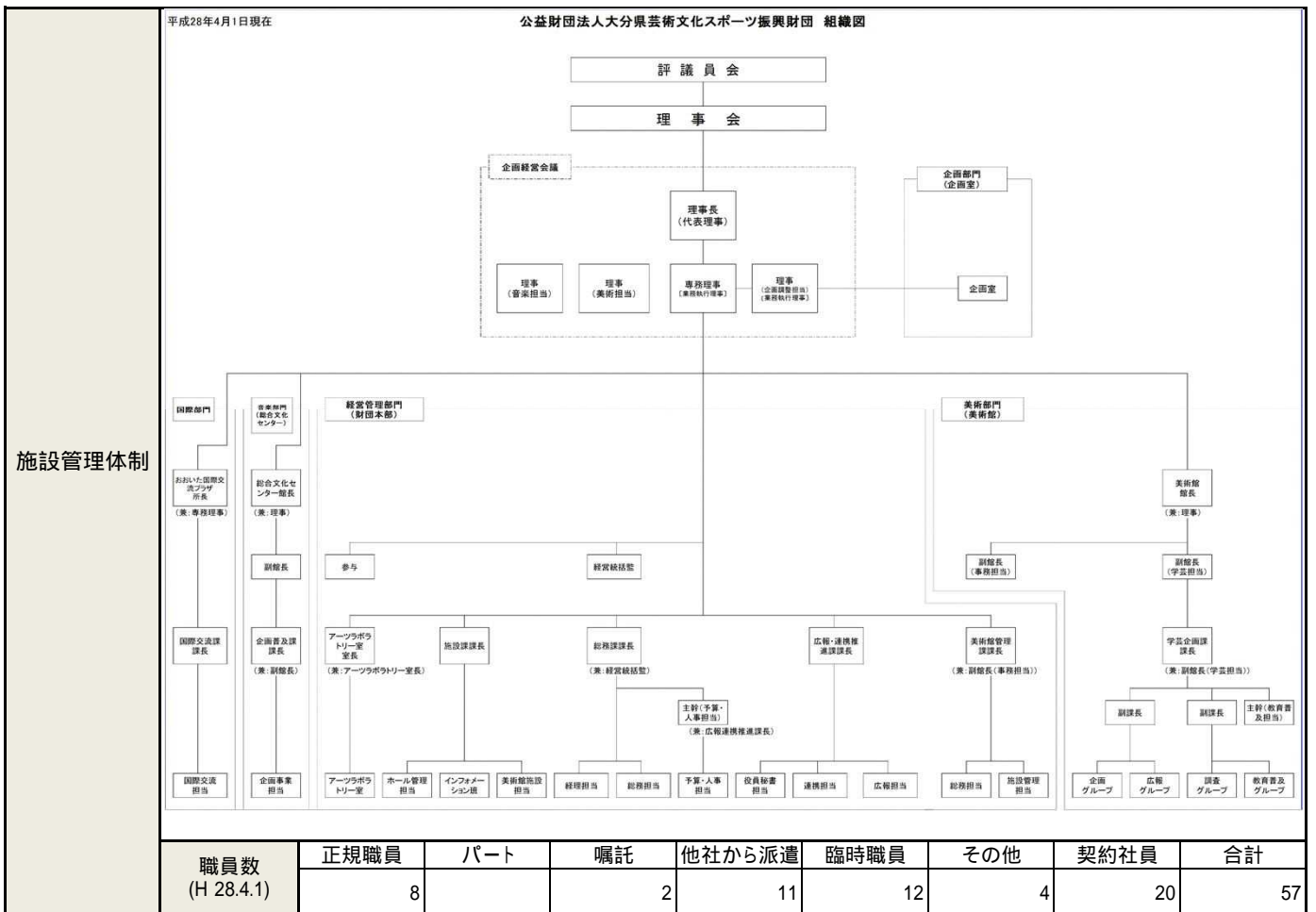
9. 施設使用料等の収入状況

利用料金(千円)	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	平成25年度	35,276	20,065	24,231	19,679	21,017	22,205	
	平成26年度	27,885	21,960	27,432	21,736	22,032	20,690	
	平成27年度	31,549	21,983	25,387	24,568	22,334	19,826	
	平成28年度	27,326	16,613	21,971	21,317	23,136	19,705	
	年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	平成25年度	19,393	18,680	18,571	16,747	13,456	22,321	251,641
	平成26年度	18,894	22,691	17,296	19,536	15,524	25,074	260,750
	平成27年度	23,709	21,674	19,806	19,130	15,208	24,120	269,294
	平成28年度	26,673	22,626	19,122	20,282	12,505	23,797	255,073

大分県立美術館

利用料金(千円)	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	平成27年度	2,082	4,767	4,622	4,406	8,504	15,653	
	平成28年度	3,968	1,529	6,346	2,422	1,733	2,902	
	年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	平成27年度	7,108	2,476	1,936	1,898	9,828	4,668	67,948
平成28年度	9,158	3,101	3,351	3,508	9,127	5,756	52,901	

10. 指定管理者の管理体制



11. 適正な管理運営に係る主な取組内容

<p>職員の資質・能力の向上</p>	<p>一般財団法人地域創造と共催で公立文化施設の運営に係る研修を実施(2回)</p> <p>多様な経験による視野の拡大を目指した人事交流の推進として、一般財団法人地域創造へ職員派遣(H28.4月～)、独立行政法人国立文化財機構(東京国立博物館)へ1名研修生派遣(H28.9月～H29.3月)を行った。</p> <p>iichiko総合文化センターのホールレセプションニストとして活躍しているボランティアスタッフ32人に関して、2月にはブラッシュアップ研修を行うなど、スキル向上を図っている。また、芸短大との連携協定の一環として、単位取得可能なサービスマーケティングの学生を受入れ、研修を通じてレセプションニスト活動に関心のある若者の発掘に努めている。</p> <p>美術館閉館により、各担当職員が他の美術館職員と作品の貸借等を通じて交流する機会が増え、スキルアップに役立っている。</p>
<p>防災に関する研修・訓練</p>	<p>防災意識の醸成及び迅速な初動体制確保を目的に、地震・火災を想定した防災訓練をiichiko総合文化センターは2回(7月、12月)、県立美術館は1回(7月)実施した。7月に実施した訓練は共同訓練とし、両施設で同時に災害が起きることを想定のうえ、それぞれの施設の職員が連携して避難・消火活動等に取り組んだ。</p>
<p>安全対策等</p>	<p>【iichiko総合文化センター】</p> <p>エレベーターや舞台設備など専門性を有する部分については、業者による定期点検を実施し、異常箇所があれば即座に連絡を取り合う体制を確立できた。</p> <p>公演中の停電や機器の不具合発生など不測の事故発生を防止するため、施設・機器の利用前後の点検を実施し、施設利用者や来場者の安全対策に万全を期した。</p> <p>施設の計画的・効率的な維持補修のため、県施設整備課と連携して大規模改修計画を作成して計画的な修繕等を行った。</p> <p>OASISひろば21の統括管理者である(株)エフ・ティー・シー大分と催事情報の共有等を図るとともに、適時、共同で施設巡回を実施し、異常箇所がないか確認を行い、異常な箇所が発見されたときは速やかに対応した。</p> <p>【県立美術館】</p> <p>警備、清掃、設備保守の委託業者決定後、定期的に連絡会議を開催し、美術館の閉館に向け情報共有を図るとともに、館内の安全対策等について意見交換を行い、閉館後の施設の管理運営体制を整備した。</p> <p>10月に2年目の瑕疵検査を県施設整備課、設計者、建築施工業者立ち会いで実施した。検査の結果、瑕疵が認められた事案については改善を行なった。今後も不具合箇所については、設備をはじめとした第三者委託業者と連携し、情報共有しながら3年目の瑕疵検査も視野に取りまとめと改善要求を行なう。</p>